

—20才にして知ってれば後の
人生を変えられたかも知れない—

2008/6/21^7/8

人生進路は若年時代の決断に支配されるが、人生法則は逆に後の長い経験から得られる。真相を認知した時にはもはや時間が残されていないのです！過去にも部分ノートを残したが以下にその重要情報網羅を試行した。筆者以外の方の修正加筆も期待したい。

① 『死と生』：この二状態がしかとあります。

①一人では生きれない。「人は共に生きるべし」。コラーン⁽¹⁾(原典は旧約聖書外伝)で語られる人類祖先アダムへの平伏命令を拒絶した墮天使サタンの独言と神の対話ひとつに人類の生き方と命運が示唆される。人間の神の下の平等と悪魔との闘いでの団結説話である・

②生まれてしまった本人自身にすれば育成性環境(家庭-地域-国家国際社会と時代)は選択不可能だ。宿命論である古今東西の本物の宗教予言と占いに馬鹿にできない要素がある(予言問題)。その理屈は現宇宙歴史が0確率決定論だからである。ところが実数0と言うのは特異で、確定であり、かつ確定でない矛盾存在。「未来は己意志で変えられる！」。今世紀最大のブラジル人予言者ジュッセルーノ氏⁽²⁾もこの点を強調している。

(1)実存哲学(サルトル⁽³⁾等)の見方では、この時の己自由意志に最大価値があるとする。

一回の人生で成功失敗も己自由選択意思による賭けにこそ価値面白みがあると言う。

☞：真の自由と言うのは孤独責任と裏腹、山下達郎さんの奥様の歌にも指摘があります。

(2)マルキスト達からは実存哲学には人間連帯意識がないと言う非難がある。

☞：連帯は本論究極課題。だが集団寄生しかないと思う(無意識甘え)状況が作られる。

主体性喪失集団員組織は必ず、無批判での**執行部独裁腐敗**で不幸起源になる。

☞：孤独も連帯も双方の2重平衡実現と言うのが肯定否定両論的な般若心経見解(後述)。

(3)ゲルマン系秘密結社⁽⁴⁾=骸骨と骨思想も背景に死の意識を控え、人生やりたい放題を入社歌で歌と言う。その結果がああ無神論無法極地の9/11自演テロと中東侵略だ。

彼らの無知蒙昧はエリート優生主義支配による人間平等と連帯の認識欠如であろう。

西欧無神論では「神なくば全てが許される」と言う思想存在に注意。だがこれは誤だ。

かような支配者は表向き有神論に熱心である<神反逆のサタン逆さま性>。

☞：スカルボンズは米エール大学発祥、米の東大と言われるが、**国家国民はエリートの搾取対象**と言う貴族悪魔思想は全く官僚大学東大と共通である。筆者は東大卒多数から教育指導受けた恩義があるが、無法学部-無理学部卒OBには手を焼いている。

(4)佐藤康行氏⁽⁵⁾論では「己死の床を想定、そこから逆算して悔いなき人生を悟る」という。それは「己使命の自覚」であるとも言う。三島由紀夫氏⁽⁶⁾も生前「自分だけの人生ではつまらない物だ(大人の証です!)、何にか価値に死すべし」の趣旨を述べてる。

②『死と生の宗教』

- (1)神(全知全能存在)と死後霊世界は過去古今東西の多大な臨床事実と最新の数理物理学成果として本物です！過去の偉大な宗教は比喻寓話と言う一見非科学的説教法を使用してるので現代エセ科学教育で染められた現代人(宗教人自身にも)では重大な誤解ある。
- (2)超能力者の宣保愛子氏⁽⁷⁾は死後世界の様相と亡き者への弔いの重大性を語ってます。同時に人の輪廻転生も述べてます。
- (3)仏教極地ではこの輪廻転生(現世執着)を更に一步超え、永久無の追求(輪廻解脱)がある。仏教では心安泰としての空無心(座禅)も徹底追求された。可知論典型としての**般若心経**の本質は純然たる肯定・否定の二値論理、Aならばnot Aも道理なり。だから全部が道理。故に経からは何も得るものなし。それで真実普遍と自称。究極は肯定否同時実現としての空無世界の何でもあり矛盾論理学(現世と来世往来の超常識現象, 神と超能力者示唆)。
- (4)法華経は前者可知論の相反にある**不可知論**、その結論は全ての因果連鎖の平等性。日蓮**法華経**⁽⁸⁾は現世での人間平等性を押し出し、政治に積極的に関与した歴史がある。二値論理から前者が死の教義に対し、後者は生の教義(ユダヤキリスト&イスラム教)に見える。
- ☞：両経は過去反目(?)にあるが両教義を統合すると世情適応能力が向上するだろう。

- (5)ユダヤキリスト教とイスラム教の元は同根の超能力者予言宗教。来世にあつて人類現状とその未来を見通した結果が現世人類歴史的救済の為の大時代的寓話予言教義。
- (a)ユダヤ人は神より託宣を授かった人類救済の宗教使命民族(西欧でのキリスト教布教)、歴史的には救済者にあるが故に、悪魔支配欧州では過酷な運命の下に生きる事になる、
- (b)旧約聖書樂園追放寓話は人間の欲望に駆られた不完全知識が自滅を誘う事の教義。不完全知識象徴として登場するのが知恵の実を食せよと誘惑する蛇の寓話。
- (c)コラーン⁽¹⁾で語られる土からできた人類祖先アダムへの平伏命令を拒絶した火から作られた高慢な墮天使サタン独言と神の対話に人類の生き方(人間の神の下の平等)と命運(悪魔との闘いで)の団結)が示唆されてる。**悪魔は人類を神の道から外すべく復讐に狂う。**

高所墮天使が悪魔化するは極めて政治歴史心理学として超傑出した視点を提供。マルクス階級闘争論と本質で絡む。資本主義は知恵の実(生産・金融技術)と支配階級没落恐怖が生む圧政で悪魔化する機構こそは正に近現代歴史を、また今正に実現してるでないか！。

10年不況の経営者恐怖が悪魔化、それが1/3非正規雇用での差別貧富拡大化と世情破綻。気候変動危機回避本質は **junk 資本主義放棄**だが敗戦よりも革命が恐ろしいで、できない。

☞：キリスト-イスラム両教は過去反目(?)にあるが両者教義を統合すると現代が読める。更に仏教を加算すれば神がサタンを創造、かつその問題に如何に心砕いたかが判る。

- (6)かような経緯から肯定否定の双方を勘案し、その二重平衡を策するが一つの鍵に見える。人は如何しても片方に偏向しがちなのだ<平等不偏性>。

②「人は共に生きるべし」での実態(愛憎関係)と人間関係：

人が生きる上での基礎的本質関係は「**与える、貰う**」の相反行為中に存在する。その両極端は大人(親)が子供に無償行為としての「与える」と、不当一方的な奴隷制での主人の「貰う(収奪)」がある。前者では慈愛が存在し、後者では差別憎悪が発生する。持てる高位者が持たざる下位者から奪われる被害妄想も差別憎悪(サタン化)が発生する。

以下の少数定義を利用するだけで(政治的)人間関係全局面での心理関係も解析できる。

- ①子供≡生産力能力に欠ける育成期間、“もらえる”事を人に期待してる。
- ②大人≡生産能力と無償で与える資質(慈愛)を持つ。〈Jucelino 氏指摘にも無償とある〉
☞：親, 親分, Godfather, 社長, 労組幹部, 教師, 大統領等は子供, 子分, 手下, 社員, 生徒, 国民に与える事ができる資質としての存在になる。
- ③差別憎悪≡己の利益に役立たない、もしくは有害(利益争奪)とみなす相手への動機。
[優生主義と高地位没落恐怖] vs 「不当支配と下層被収奪階級の怒り」,

④人類特有の悪魔性としての仲間殺し<③からの派生現象>：

人間以外では同種の仲間での闘争はあっても、一度相手が逃走や戦意喪失を見せると殺しに至る事はないと言う。然るに人類史を還り見ると戦争の歴史中心でないか!
有害と思う相手は殺せば人間特有のサタン性である。然るにこの人類だけがサタン性緩和としての“宗教”を持つに至ったが、正真正銘の宗教教義は全て殺すなかれである。

⑤教育の目的:子供を自立能力ある大人化する事。

⑥失敗実例解析から浮上する課題：

過日秋葉原事件は上記概念での解析の典型例になる。

先ず犯人育成経過として幼少は過保護エリート(幼児性残留)、後年には生徒貴族没落、就業人生も同様の深い人生屈折感情、加えてこれも90年バブル崩壊で没落恐怖で悪魔化した日本実業界全般としてある経営人事搾取機構としてネジレ合法化された派遣社員制度下での流転人生から派生する孤立不安定と将来への絶望的な日々の苦渋に、他方で優雅に見える多数他人都会人生活(東京は身分無関係に大方は身なり立派, 町並みも競って豪華)。この長期経過中で培養肥大化された怒り憎悪蓄積に引き金を引いた些細な職場不祥事。

“本人気質×孤立環境×育成環境の失敗×政治経済社会の失敗×些細な発端=憎悪爆発”。どれ一つ愛情欠落的で、通常はありえない憎悪形成の因果律連鎖が了解されるだろう。マスコミ取材等では同じ思い(将来への絶望的な苦しい日々と許容する社会への怒り)にある若年層が当然多い。だが大方は無差別犯行には理性抵抗があって実行しないだけの話だ。かくまで若年層を追い込む犠牲を強いて経団連は将来日本をどうするつもりなのか。
☞：我が子を生贄に奉げるアブラハム神話?!.

☞：身なりと町並みを豪華にする事は「人を政治的に権威平伏威圧整列」させる為である。日本では些細なデモ行進でも威圧的警備体制が付随する事からも意味が判るだろう。

③ 政治的成熟度は何で決まるのか！:

①人には二つの質がある<筆者の論>.

(1) **I Q=知能指数**, これには言語推理能力と数理的解析能力で一般に測られてる。

要するに紙試験回答能力である。紙試験能力は実業現場でも一応反映する。

しかし実用新規創造では, 学校では教えないもっと先行する重大要素がある。

それは**問題発見能力指数(PQ)**だ。PQとIQは必ずしも一致しないだろう。

IQは以下のAQとも必ずしも一致しない。

(2) **AQ=大人指数**.

育児法是非は別問題として、人に限らず親の子供への愛情は全くの無償行為になる。

Casey-Jucelino 両預言者も指摘する**無償行為**と言う所に核心がある。たとえば0サム法則的な政治経済での民主化では持てる者が持たざる者への無償供与でしか実現しない。

それは話し合いと選挙投票結果の革命、または歴史的には軍事力革命にもなる。

☞ : 0サム法則: 全体総量一定値を如何に分配するかの問題. 典型が所得と資源配分.

米英支配階級の適者優生思想では高位所得占有になる。近年日本もこの影響下に。

(3) 真の大人とは斜陽凋落を認める存在、これは現代世界現時点では最大級の課題になる。

成長は必ず有限であり、民主化=富と権力の平等分配も歴史普遍だからだ。欧州が分配公平化の歴史に対して、米国-日本は逆の高位占有に傾斜してる事が問題化してる。

(4) 無償行為ができないというのは能力&愛情欠落=自己優生-他者劣生の憎悪差別悪魔性。

最も間抜けと思われるのは他人安泰保障なくて、己安泰も計れないと言う現実である!

だから米国日本は同時に政治警察弾圧国家, 米国 CIA-FBI は米国民政治監視で悪評!

(a) 人には可愛い(母父の本能), 美しい, 優れてる強い, 好意に好意を抱くの生殖的本能と、思想宗教的動機からの窮地にある者への「共に生きよう」の慈愛的な二つの愛情

(eros & agape)がある。後者は特別に思想宗教教育がなくても「**他人心中が測れる常識的資質**」にも起因する。後者が大人としての資質になる。

(b) 逆に憎悪は**自己愛過剰(被害妄想と裏腹)**の性質、突出的に世界最大軍事国である米国心理構造は正に自己愛過剰(被害妄想=没落恐怖)国家。この心的病理に気づく必要がある。病者差別にもなりかねないが神経症者には「己への固着」が見られる。

☞ : 幼少教育で、植物動物=生命育成の実習をやる理由が一つここにある。

☞ : 自己愛過剰(被害妄想)者が残忍化する理由は他人心中を測る常識欠乏 . 一人よがり.

☞ : 良き指導者を見ると他者奉仕が信頼を勝ち取り、それが本人自身と一層の他者信頼への好循環が存在する。だから大人物はその周辺が作る。逆も又真なり。

☞ : CIA が望まざる人物追落で謀る罫は「**他人不信助長のCIA 芝居**」の周辺での一途演技. 見破れない**孤立人**がこの罫に落ちると「自己防衛固着」神経症になる。各面での分断陰謀に使用される。勝利技術は相手は**憎悪組**だとシナリヲを見破るコツにある。

②現日本支配層が思想汚染されてる米英輸入世襲制エリート優生思想の大間違い：

西欧人には敬意を払うべきだが、誰もがそうである様に彼らも弱点だらけだ。本サイト一つ結論が中東発祥宗教再認識と西欧文明欠陥論にある。その結論は東西文明統合結果としての科学から算出された(既成科学の反-超常現象&宗教). 現代世界圧倒支配は西欧文明に見えるが, 基礎出発点は純西欧製と言う事でない(ユダヤ・イスラム(中国インド)文明の西欧移転からの発展)。物事一般判断で「誰の産物」だからに囚われる人信仰は大間違いする。典型は戦後米国の圧倒的大繁栄がもたらした米国崇拜、だが識者はその裏側にある大規模な腐敗不正矛盾を従来よりも指摘してる。日本人の明治以来の誤った白人崇拜は根深い(その劣等感裏返しとして国粋主義もある事にも警戒)。敗戦後の日本現体制は正に徹底した米英人優生主義構造に支配されてる。

(1) 実用主義としての民主主義：

組織利益最大化目的での指導者選出となれば, その**指導者能力**のみで測る事になる。可能性最大化として門閥世襲に無関係に**機会均等**の下に指導者選抜せざろう得ない。となると**国家国民全員は将来指導者の育成基盤となる**。彼ら育成の最良政治が実用主義としての民主主義だ。世襲子弟秘密は権威追従-下位者冷酷で奴隷頭最適、遺伝的少数世襲子弟と一般実力選抜でどちらが最適者化するか。

☞：現今日本の政治官僚経済界、芸能界等でやたら世襲制が目につく。彼らは日本無能残虐化の今では主役、世襲頂点の天皇家主催宴会に招かれるわけだ。米国(英国)も支配階級は少数財閥の世襲制である。Clinton 前大統領は Rockfeller 系の隠し子だったそう。最悪 CIA 系の Bush は英国皇室につながる縁戚関係にある。

(2) 米国流ビジネスと人事管理技術の大間違い：

現代米ビジネス支配思想は「**勝者が全てを貰う、共に生きるの逆!**」。相手を蹴落とせだけではないのか、背景にあるのは巨大な「**だましと脅し**」の金銭物欲暴力虚妄支配世界である。

☞：この事は米人自身よく認識にあるが、まだ多数派形成にない。

筆者は米国ビジネス経験がある。又転職多数回で国内企業経験もあるのだが 20 年前で、現在では国内様相は一変!>. 当時比較として言える事は米ビジネス方式は既にマニュアル化していて, 徹底した {top down 指導 & 投資効率主義} 追及にあった。他方国内の方は率直に言えば既に怠惰どころではないが無駄も許容できる余裕が見えた。企業支出最大は良くても悪くても人件費。国内企業特徴は自動車家電点に代表される民生品で昔の安売りでないが**人手依存生産技術的**で、バブル崩壊で日産日立すら傾く時期が起こる長期大不況経験から勢い**人件費圧縮**だけに向かってしまった。典型が**人派遣制合法化**である**だから昔は手が後ろに回る違法行為だった!**>. 最近の事務所模様を見ても人事管理も米国流が見え隠れする。

(a)株主-経営者が王様, 過当競争と短期利益追求になってきた結果、人使い捨て時代である。米では簡単に首きりがある。高給職と単純低級職は別組み、トイレも別。とにかく身なり-建造物の格好を競うが、内情実情はゲルマン的徹底冷徹性で人情がない。勝ち組と負け低層が極端化、だから米国は繁栄と同時に貧困犯罪も多大な天国地獄同居だ。

(b)要するに**日本実業界の米国崇拜浸透**が同時に米国の悪も招聘して、天国地獄同居化へ。

日本人は二種類になると言う事だ。米国人の言いなりになる型、批判的な型、結果的に前者が**多数派**で、後者は**少数派**だ。率直に言うと甘えの構造(無能)はどうしても数で勝り、自分の信念を持てる者は少ないと言う現実だ。その戒めは、日本では常に少数派にこそ正解があると言う事になるだから少数非主流見解から宝を探せと言う事になる！。

(c)20年前に米國務省ペーカが日本の所得構造を高位偏重にせよの指令通りになった。

人事搾取で浮いた金はどうなったか、一部富裕層の華美豪華生活と米への無金利融資。米の放漫巨額借金が終に破綻してFRBの本物\$爆刷で今では生活物資世界価格暴騰へ。これも最後の世界経済破綻に通じると言う指摘も多い。

(d)**天才たちの大誤算：**

米英ゲルマン系エリート気質として知るべきは「豪華とフロンティア追求の衝動性」であろう。良くて悪くても何らかの「からくり工作=技術主義」に熱を上げ、その打ち上げ一攫千金に狂喜乱舞するのだ(NASA 宇宙ロケット, たかが地球の屋根に上った程度の話、人間はバンアレン強度放射能帯で地球外に出れない！、月面着陸はビデオ演技の巨大嘘)。成上がり企業エンロンの大破綻を見ても今回のサブプライム巨額負債発生を見ても、無理を押し通して、だましもへいチャラで巨額利益を夢想煽動する投資企業性格に起因してる。ノベル経済学者2名の金融技術によるヘッジファンド**LT CM破綻**の本質は局所整合、大局破綻の好例であろう。この事は日本にも強くある欠陥だ。統合的終局大局結果を見ずして部分的成功におぼれて最後は失敗に至るのだ。古くはドイツナチスと近衛挙国戦時体制内閣の勃興勢いと破綻への道に共通する欠陥。ちなみにドイツと日本は未だに国連敵国条項にある。又、気候変動大危機を招来した**現代文明欠陥その物でもある。**

☞：概してユダヤ系には技術者が目立たず、大局科学に秀でた者が多い、他方英米系、日本は格段に局所技術主義的(過度専門化の落とし穴)である。

(e)**日米共通としてのやり過ぎの経済が全人類的墓穴を掘る：**

経済本来は人が生きる為の目的行為、だが共通する近視眼的手段目的化が地獄を招聘。東京を見ても米国を見てもひたすら見た目の都会華美を競ってる一方で、アフリカ、豪州、アジア、南欧、米国内ですら気候大変動兆候が露に、現代麻薬文明の証。

(3) 看板とは裏腹の反福祉の行政医療-警察(軍事)エリートに蔓延る CIA 思想の影:

我々血税での奉仕すべき公務員が、その小心利己心を CIA にそそのかされて、まさかの国民利益大規模背任行為にあるなどとは信じ難いだろう。だが細事詳細を観察すれば判る。公務員は責任所在がわかり難い、しかも簡単に首にできない、CIA も同類公務員である。行政-警察軍事一体の見えざるファシズム克服は民間よりも時に重大になる。

☞ : 本件癌告知は真の治療の為に不可避、我々こそが金を握る**支配納税者**なのだから！

(a) 「見えざるファシズム支配」=軍産複合体の半分は公務員だからできる:

自身軍人であるが故にそのアイゼンハワー大統領退任演説で糾弾された米軍産複合体問題は当時にして国内要所全てに影響してるとされる。米ソ軍縮緩和は軍産複合体反利益政策として暗殺主題の映画 JFK では、警察-司法-軍 CIA の公務員が犯罪実動部隊。現米国は報道映画芸能 sport 界, 出版, 教育-司法警察軍-実業界が**中央一体制御**にある。**第一特徴は世論(事件も含め)と時代風潮が政治意図的に国民だましとして演技される事**, この事情は殆どそっくり日本の実情にも当てはまる。その理由は敗戦後歴史に、

☞ : [The rise of fascism in America](#) : 米国現実が先鋭に分析されてる。

(b) 日米戦争敗戦と占領下人脈形成=今日に至る日本裏支配の起源:

敗戦後米国は日本統治の手段として、天皇家から指導的地位の軍人, 官僚, 医学会財界人政治宗教思想家等多数を戦犯容疑等で巣鴨刑務所に収監等の手段で脅迫と賄の双方で GHQ 協力を強いた⁽¹⁰⁾⁽¹¹⁾⁽¹²⁾⁽¹³⁾。彼等は日本権力要所の地位に着き, 対米協力網として戦後一貫して動作。民間網(特に報道マスコミ)と並び, 官庁行政-警察自衛隊は中核一つにある。

(c) 反福祉の CIA 思想と行政医療-警察(軍事)日本エリート:

C I A 思想は以下に要約できる<CIA は戦後ドイツナチスからの人材技術密輸で成立>。

I : 全てを己の米国(支配層)の利益に、C I A 協力組織網を世界に増殖!

逆に反 C I A 的な者は根絶やしに(WASP(ドイツ系も絡む)優生主義思想)。

II : 最も効率が良いのは「だまし詐欺脅迫(思想宗教-世評風潮-情報陰謀工作)」である。

その為の特殊技術開発と王様から乞食まで何でも陰謀利用する。

日本官僚エリートに洗脳された思想は**優生主義思想**。天皇財閥-東大官僚-司法警察と医学会と軍(闘争での適者生存思想)。国家国民は支配エリートの為の搾取対象(納税奴隷)。

(d) 長期財政逼迫事情下で小心裏切り官僚が危惧する問題=部署人員給与特権削減政策:

財政支出一位は悪評あれど**社会福祉関連予算**である。長期的に見ても増大傾向、で彼等に CIA が吹き込んだのが同予算削減陰謀としての国民人口寿命短縮策。WASP 系政策が有色人種国家に関して第一に唱えるのが人口過剰問題(Rockefeller 等)だからだ。

現代虚栄競争の裏実態は美食ジャンクフードと車氾濫での大気汚染-緑地沿岸破壊と肺癌、糖尿病国民病化, 過酷な就業環境でのストレス、貧富拡大に伴う就業不安定&犯罪社会化、出産難民, 医療費膨張、過保護教育、政治貧困(潜在弾圧)での失望蔓延、愚弄マスコミ、**全てが国民愚弄化政策反福祉**。これらは無能失敗でなく意図的 CIA 政策なのである!!

④ これからの最大財産とは？

かく如く日本若年世代には確な遺産がない。だがこの現実対処こそが生きる自由実現だ！。一人煩うは最愚、結論は真実で生活の為の政治団結のみである！！

① 危機こそは大機会到来と喜べ！

平穏平凡無事人生もあるが、その逆の動乱時代も宿命、これを他人責任するは駄々っ子。共通危機認識をテコに人が大団結できる大機会である。大同団結あらば何でも出来る。

- (1) 現代日本では大方が身なり住まいが立派に見えて、何か皆うまく言ってる様に見える。だが泡崩壊後の職場環境は激変、皆が己地位延命だけで虚栄-分断孤立化が蔓延した。
- (2) 苦悩を抱える多数が現実なのに共通認識の対話会合がない。小集団を超える対話がない。
- (3) 結合触媒核心は事実真理認識にある。現状マスコミや出版物には集積的決定版が少ない。嘘騙しを見破る！。世の中に虚妄教条での嘘だましでの既成偽装団結も又多いのだ。その特徴は「権威個人崇拜的」で甘えの構造的な思考判断停止が背景にある。

② 将来を読み解いて大局から現状詳細を定めて行く！

- (1) もはや個人努力で出来る時代でない!!!。されど個人努力なくても出来ない。

個人技と集団技術の双方なくては出来ない。その終局は必ず政治決着しかない！

政治と言えば政治家の顔が浮かぶが実は「生活政策結果だけが実効的意味になる」。政策公約(マニフェスト)選挙だけが本物になる。「顔の政治」は先ずだましである。

- (2) 戦後日本が実質自民一党独裁CIA政治にある認識に立つと事は確かに容易でない。自民党から共産党まで全て既成報道体制と結合した既成権力が支配的だからだ。

③ 大型政治は「国民政策集約」こそが育てる。それは生きる基盤枠組み政策！

I：理屈は簡単だ、衆参両院で革新政党が多数派形成なれば原理上は何でも出来る。

日本の決断が世界に影響を与える可能性も高い。長期大局視点から国民は先ず徹底して現状将来真相を見定めて**政策議論に集中**するのです。食糧-エネルギー住宅-所得問題専門家-気候変動専門家との真相に関する国民の大相談議論が必須。しかる後に政策から政党を選ぶ、もっと積極的には政党を政策で動かすしかない！

II：現状大間違いは腐敗愚弄マスコミが世論を攪乱して国民を騙してる現実に起因する。高齢者福祉も官僚特権タクシも確かに重要だが問題には**基盤優先順位**がある。

III：基盤優先順位は生きる事の筆頭政治保証={**食糧、エネルギー、住居問題**}である。

負債破綻米国FRB\$爆刷、気候変動による資源先物高騰こそが現状将来大危機、

IV：上記IIIとの関連で**雇用-通商産業構造政策**(統合的経済政策-世界との関係も不可避)、

V：まず国民生存条件確保(生産-雇用)であり、次に(分配)の福祉医療教育の順になる。

VI：歳入面視点からは税制(金余り是正累進課税)-行政改革が避け難い。

VII：安保外交=戦後日本解放とは日米安保CIA廃棄政策：

上記政策は戦後日本体制革命だから反動勢力が動くだろう(警察自衛隊労組結成)。

—補足 A1 : 本論要約と補足—

- (1)対人関係は“give-take の相互補完関係”だ。その平衡感覚-秩序感覚が問題になる。
- (2)生産能力と人格で育成未熟な子供はもらうばかりだ(教育の目的=大人化)。
- (3)大人資質とは無償での与えるにある<斜陽凋落受忍寛容性=生産能力自信が背景に>。

(4)科学は事物真理を語るが、人間の生き方真理は既に宗教が開示してる。
物事全部には常に肯定、否定の両面がある。両方を常に見る不偏平衡感覚が肝要だ。
人類歴史命運は宗教寓話にて開示されてる。

- (5)人は良くても悪くても現状路線に固執しがちだ、選択する未来が怖いから。
現状不完全性に忍耐しても、想像未来の不完全性が怖く見えるは自愛被害妄想過剰性、
☞：完全主義はだから敗北主義の裏返しだ。⇔ 不完全性が破綻をもたらす。

だからこの辺りに核心がある事に！ 未来将来は「論理」でしか推測できない。
☞：指導者資質としては大局認識とそこでの飛躍決断が常に求められる。

- (6)時間がある内に失敗は大いに経験した方が良く、若年貧乏等は恥にあらず。

失敗の後悔よりも、しなかった後悔の方が後に大いに悔やまれる経験法則がある。

- (7)まず小さい可能な事での成功癖を付ける。長期でのその集積が価値を帯びる。

学校教育や就業現場で自信を失う人が多い。現代日本秘密を明かせば大多数国民が自信と喜び(健康-長寿)を持ってもらっては困るのだから<米国植民地の使い捨て奴隷人だから>。

だからまず「自分探し」と「他人探し」だ！ 勿論良い所をひたすら探すと同時に造る。

☞：自信の無い人は常に他人顔色伺いで、些細な事にも被害自衛妄想が先行<現状日本>。
自信、信念の有る人は他人不当干渉にも動じない要素がある<日本人少数派>。

- (8)真理真実と人が愛しい事=生命肯定(神意) vs 虚偽憎悪=生命否定(サタン意)：

真理真実は秩序的であり、虚偽は破綻破滅に通じる。動植物生命は周知の如く生きる意志の塊で、だから食事、セックスが快的なのは生命持続的だからだ。逆に苦痛、憎悪する敵は生命否定的に成る。人関係が生活相互扶助的ならば生命的だから快(愛情)と認識される。然るに何ら見返りが無いのに扶助姿勢もある。広い愛い(ともかく共に生きよう)で、困窮に在るから苦痛軽減してあげたい。他人苦痛を見るは己苦痛でもあるのだが、これは人と社会時代風潮によって差異がある(その特性は己だけが特別に生きよう)。現代は junk 資本主義サタン支配時代、だから{利己主義、憎悪、秩序破綻}の結果が原因促進の一体帰還関係として現象が蔓延。この大局構造改変はだから、局所的、個人技で解消不可能。

☞：{利己主義、憎悪、秩序破綻(虚偽-誤り)}は3種サタン器に成る。

- (9)個人尽力では解消不可能な大問題がある。

⇔ 真理真実で政治的大同団結(後日議論予定)、みな共通事項で同じ不安悩みを持つ。

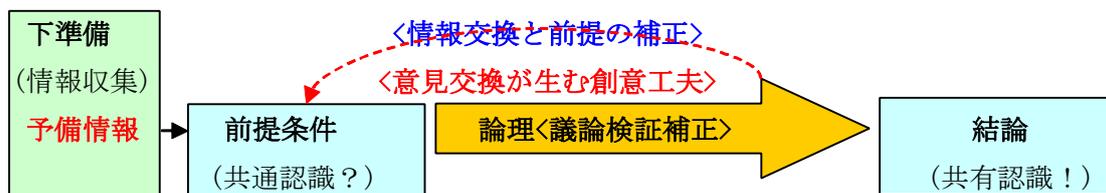
☞：真理真実、人、グループ集団、組織を見つけ、協同創造する絶大なる必要がある。

(10) 団結の為の個人技(意見集約) :

楽団, サッ-同様, 集団技が成立するには相応の成員個人技があつて達成できる。各個人の力と集団意思決定(議長)技術性能の双方が絡み合つて成果(組織実力)が決まるだろう。

(a) 情報収集と発想思考判断する事は個室的な個人技, 情報提案交換を通じて検証検討**補正**するのが会議室的な集団議論。個室と会議室を往復する回数で成果が上がるだろう。

(b) 結論とは**前提条件(基礎事実認識)**の下にどうする, どうなるの論理学**条件法命題**だから、議論前提となる成員への予備情報(知識)の確認確保がまず先決問題として最重要だ。議論はだから「論理としての詰めと前提事実認識補正作業」になるだろう。
結論成果はほぼ前提情報の質と意見交換が生む創意工夫次第で決まる(準備作業の質)。



(c) 下手の多くはまず前提事実でかみ合わないので結論にならない。立場固守作為相手はまず「前提忌避で逃れようとする」から**基礎事実前提を徹底詰め将棋して行く**。

(d) 人が譲歩で己意見を折るには, 本人が納得できる何らかの根拠理由(利得)が必要だ。

相手にそれを暗示する必要もある。議論譲歩した相手には精一杯, 支援を送って味方である事を印象しておく。誰がでなく, ”何が正しい” のかだけに拘る。

(11) **二値背反論理=人類はいずれを選択?!=最後の審判!**

生命肯定(完全)神の意思
 「ともかく共に生きよう」
 無償の自己犠牲奉仕
 (共生思想=慈愛)
 民主社会主義
 所得資源再分配
 (環境修正と生命回復)

生命環境=自然服従秩序系。
 真理真実と秩序形成
 大局骨太の素朴実質主義

生命否定(不完全)サタンの意思
 「特別な己だけが生きる」
 有償の他人犠牲搾取
 (優生思想=差別憎悪)
 junk 資本主義
 勝者が全部取る。
 (環境改悪と生命滅亡危機)

反生命環境=人為競争憎悪系。
 虚偽騙し誤りと秩序破綻
 局所表面上の華美虚栄幻想競争

二値背反論理=人類はいずれを選択?!=最後の審判!

—補足 A2：もう一つの人生をどうですか！（現日本に忍び寄る社会的うつ病蔓延）—

<<その根拠はAならば, not Aの可能性が常にある、ただし not AはA以外の全部！>>.

世相全般が鬱状態に見える。昨今日本は世相も職場環境も悪化激変して良くなく、今一宣告を受けた患者の様に凹んでしまい、何も真相を知らない脳天気な別人を除けば前向き姿勢が見えない。何故か？。日本人が自信と仲間信頼を持つと現状体制の異常性と政治変革が迫られるからだ。まさかと思うだろうが、変革阻止の為に己心配と悩みだけで精一杯の日本人が増大する事が求められてる。何しろ現代世界は悪魔支配だからです。しかる状況で結果が保障できるならば誰も始めから苦労はないことになる。保証がなくても可能性の一つ々を己意思で選択尽力試行してる間に絶望はない。

(1)本物の鬱重度者では努力を思うだけで悪化する。

鬱重度は内臓同様の過労脳機能障害で、現在薬物療法が発達、医治療すれば救済がある。元気ホルモンの源泉脳細胞が過労で破壊されるからです<筆者も不眠で壊れた経験有>。

☞：いささかやばいのだが、カフェイン、ニコチンが活性剤ドーパミン代用物らしい。病中禁煙を喫煙で回復。薬物療法ができる人はしないでください。

(2)本項目では社会的鬱を問題にする。その定義は**社会的無力感蔓延**を問題にする。

(3)鬱の脳内では生命的活性力機能が喪失し、基本的な**意欲消滅**(超胎児退行)がある。

あれをすれば成果が期待できるのではの見通しと発想が途絶える(=絶望)とやばい。

(4)期待される事は過去にない発想法への「**問題存在の自覚意識**」にある。

(5)結果評価は後回しでともかく、アイデアの数をひたすら追及する。意外性飛躍が有用、今日から昨日とは違う生活やり方を全てに追求してみる。ノートに記載する。頭に血が昇る感じが発するまでに夢想追求する、常に切り替えが有効だ。

(6)刺激、ショックになる素材を求める。苦境と瀕死体験をする。自分を追い込む。

ぬるま湯の自分可愛がり過ぎを止めろ、人は無意識に自己防衛を求めがちだ。

☞：絵描き、ジャズメン等には短命が多い、その理由は創造の為に“悪魔”に魂を売るからだ、魂を悪魔に売るとは**地獄落ちでの取引**、芸術的天才は皆多かれ少なかれ悪魔付です。地獄に落ちたら喜べ！、潜在意識からのエンジン全開-変身進化機会が起こるぞ!!、ベートベン、チャーリーパーカー、ゲーデル、芥川龍之介*、内山龍雄、山田かまち、.....

*芥川、くもの糸、

(7)人が傷や病での回復には最低三ヶ月、半年程度を要すると言うから先ず、内部成長形成に要するこの期間をやる。結果が多少でも出るとやる気に加速が付く！

(8)過去絶縁と生活別習慣が人の別種な能力を育成する、習うより慣れろの指図とおおり。

ともかく昨日と違う事を今日はひとつでも遣ろう！、この習慣をひたすら持続する。

*実はこの方法は魔女妖術師から指導を受けたのです。

—補足 A3：学校、職場の小集団を超える団結大問題—

次回掲載予定。誤った集団での誤謬訂正と解放大問題もある、非常に難儀な仕事です。だがもう少しうまくできれば、.....

—補足 A4：筆者と本サイト内容について—。

筆者最大関心事は従来より、この世の成り立ちとその未来だ。普遍的真理こそに価値があるとの思想で仕事を一貫させてきたが、現代は虚偽虚栄悪魔支配下での体制上層からは歓迎されていない。その支配体制を結果的に支えてしまってるのは今の人々である。だが幸い本サイト開設以来、少なからず支持を示唆してくれる人増加が観察できるだけが報酬だ。本サイト開設時に、**真理真実**はそれを言う人間下賤高貴に無関係と指摘した。筆者は長期に渡って常識的な生活環境にない(しかし詳細解析すると実は現状日本も世界も尋常ではないサタン支配世界!)。従って長期憎悪注入下で生き延びた筆者には以下記述には支障がある。人の心的関係解析において核心にあるのは”愛憎問題”であろう。然るに{**利己主義, 憎悪, 秩序破綻(虚偽-誤り)**}は3種サタン器(神器の相反造語)に成る..と指摘を置いたが筆者も誰も多少なりとも環境状況次第ではこの3器から逃れまい。さよう我々個人は常に不完全。だから皆様多数での検証と補足修正をお願いします。

—参考書—

- (1) Al' Quaran (日本語文庫本コーラン), 井筒俊彦訳, 岩波書店, 1957, 東京。
- (2) [Jucelino Nobrega da Luz](#), 山川栄一訳, ジュセリーノ未来予知ノート、ソフトバンク クリエティブ, 2007。
* マリオ・エンジォ著、山川栄一訳、未来からの警告、たま出版, 2007。
* ジェス・スターン, 超人ケーシ (Edger Casey) の秘密, たま出版, 1977。
- (3) J. P. サルトル, 伊吹武彦訳, 実存主義とは何か (.. ヒューマニズムである), 人文書院, 1955。
- (4) K. Millegan & A. Sutton, *Fleshing out skull & bones*, Trineday, LLC, 2003
北田浩一訳, 闇の超権力. スカル&ボズ、徳間書店, 2002。

- (5) 佐藤康行, 貴方の悩みは一瞬で消せる, ハギジン出版, 2002
- (6) NHK3ch, 三島由紀夫氏に関するドキュメンタリ, 年題目不詳、
- (7) 宣保愛子, 宣保愛子の死後の世界, 日東書院, 1991。
- (8) 鈴木永城, お経の意味がやさしくわかる本, 河出書房, 2001。
- (9)

- (10) 山川暁夫, CIA, 教育者, 1978。
- (11) 小山内宏, 見えない政府, the CIA、ベストブック社、1976。
- (12) 森川哲郎, 戦後史、アメリカ謀略の謎、日本文芸社、1972。
- (13) D. W. W. コンデ, 岡倉-岩崎訳, CIA 黒書, 労働旬報社, 1968。
- (14) 新雑誌 X 1987/12 月号 (特別企画②警察とマスコミが狙う管理社会の実態), 星雲社。

- <<一般素養としての推奨書; 政治団結技術指導書が無い, ぜひ関係者の一筆を>>
- (15) * 高阜穰, 孫子の兵法, 日本文芸社, 1970。
- (16) * 会田雄次, 決断の条件, 新潮社, 1975。
- (17) 苜米地英人, 洗脳護身術, 三才ブックス, 2003、不安定な現代人心中に鉄人を造る訓練指導書,
- (18) * J. A. C. Brown, 宇津木訳, 説得と誘惑の技術, 誠心書房, 1967。 政治心理学技術書
- (19) 土井健郎, 甘えの構造, 引文堂, 1971。
- (20) 戸部良一, 失敗の本質, ダイアモンド社, 1984。
- (21) 歴史読本' 88-9, 特集: 世界を動かす謎の国際機関, 新人物往来社,
- (22) 赤間剛, ヒトラーの世界, 三一書房, 1977。
- (23) ☞: 日本入手困難*, 筆者は書店新書を見てるが卓越本探しは現状困難, 公共図書館 (最大は国会図書館) に在庫可能性。